

南信州広域連合第2回広域連合会議 結果報告

日時：令和3年5月17日(月) 13:20~14:40

場所：南信消費生活センター大会議室

【出席者】14市町村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕丹羽局長

〔飯田建設事務所〕細川所長

〔飯田保健福祉事務所〕西村副所長

〔町村会〕岡庭事務局長

〔飯田広域消防〕有賀消防長、下平次長兼警防課長、松下総務課長

〔事務局〕吉川事務局長・加藤事務局次長兼総務課長・伊藤地域医療福祉連携課長

伊藤庶務係長・野牧広域振興係長・松澤庶務係主事

1 開会…13:20

2 広域連合長あいさつ

例年よりも少し早めの梅雨入りが想定される。今年は三六災害から60年という節目の年であり、災害対策に力を入れるのはもちろんのこと、過去の災害を後世に伝えていけるような年にしたいと感じている。

高森町で作成したモッコについて、東北で公演をしており報道がされている。私も拝見させて頂いたが、是非、東北復興の後押しになるよう活躍して頂きたいと感じている。

また、新型コロナワクチン接種について、飯田市では4月26日から高齢者施設の接種、5月14日から集団接種、そして本日から掛かりつけ医の接種が開始されている。接種が進む中、特段大きな問題は生じていないが、構成市町村等へ情報の共有が必要な事項があれば随時発信していきたい。

3 協議・報告事項

(1) 令和3年南信州広域連合議会第1回臨時会について 【事務局次長】 ~資料No.1~

ア 開催日

- ・開催日は令和3年5月31日(月)午前10時開会。場所は、エス・バード。(事務センターを集団接種会場として使用しているため。)
- ・今回、付議事件が1件あるため、臨時議会の開催となった。
- ・告示は5月12日(水)、議員の皆様には同日に議案等関係資料を送付済。首長の皆様には本日配布。
- ・議会終了後には全員協議会を予定。

イ 議会日程について

- ・議会日程について、飯田市議会と天龍村議会が改選の時期にあること、また申し合わせ任期満了に伴う広域連合議員の変更が根羽村、泰阜村、豊丘村、大鹿村であり、議長は飯田市選出議員、副議長は豊丘選出議員であるため、今回は正副議長が抜けた状態での開会となる。

日程4の議長選挙までは臨時議長を立てての進行となる。

ウ 付議する案件の内容について

- ・令和3年度南信州広域連合一般会計補正予算(第1号案)は補正額21,550千円。
- ・歳出予算の内容は、産業振興と人材育成の拠点整備事業、信州大学航空機システム共同研究講座コンソーシアム事業費、南信州環境フェア負担金、看護師等確保対策推進基金への積立。
- ・歳入予算の内容は、地方創生推進交付金、市町村負担金(企業版ふるさと納税分)、基金繰入金(信州大学南信州キャンパス構想推進基金)、一般財源(繰越金)。

→ 質疑なし。

- (2) 看護師等確保対策修学資金について 【地域医療福祉連携課長】 ～資料No. 2～
- ・平成29年度に創設し、同年から貸与を実施している。昨年度との変更点は、貸与人数枠について10名以内で募集としている。
 - ・令和3年度の応募者数については、新規13名及び在学3名の合計16名。
 - ・選考審査会については、選考委員10名により、令和3年5月19日（水）に実施予定。
 - ・選考審査の評価項目については、以下の項目を総合的に判断。
 - ～本人の意欲、地域への思い等（テーマに基づく作文）～
 - ～経済的事情（生計者同一者全員総所得金額）～
 - ～学力（前年度在学校の偏差値、成績証明書による個人評定値）～
 - ～主たる生計者の居住地が圏域内～
 - ～他の修学資金制度の併用～
 - ・選考人数を10名としているが、同率等、審査会の状況によっては10名を超える選考もあり得るのでこの場でご了承いただきたい。
 - ・審査会後の日程については、6月中旬-下旬に貸与決定通知書を送付。7月初旬に誓約書等の必要書類の提出。7月末に第1回目の修学資金振込の予定。
 - ・令和2年度末までの卒業者の就職及び進学状況について、就職16名、進学4名となっている。
- （主な意見等）
- 飯田市：審査会の状況によっては、募集人数である10名を超えることも了承願いたいとのことだが如何か。
- 異議なし
- (3) 第6回南信州民俗芸能継承フォーラムについて 【事務局広域振興係長】 ～資料No. 3～
- ・目的は、リニア時代の地域づくりにとって民俗芸能は貴重な資産であり、ユネスコ登録の現状や継承の課題について、団体、企業、行政など様々な立場から考えていただく機会とするもの。
 - ・昨年度2月に予定していたが、新型コロナの影響で延期となったため、今回改めて開催。会場は、エス・バード。
 - ・フォーラムの内容としては、講演、パネルディスカッションを予定。録画したものについては、オンラインで配信等を予定。
 - ・主催は、広域連合が事務局となる南信州民俗芸能継承推進協議会であり、5月24日に総会を開催し正式決定となるため、本日は企画（案）とし、事前の情報提供とする。決定後はチラシ等で周知予定。是非市町村の皆様にご参加いただきたい。
- 質疑なし。
- (4) ドローンの寄贈等について 【消防本部警防課長】 ～資料No. 4、4-2～
- ア 寄贈について
- ・寄贈者：株式会社セイコーアドバンス 代表取締役社長 平栗 俊夫 様
 - ・寄贈品：ドローン及び映像確認用モニター一式
 - ・受納日：令和3年5月13日（木） 連合長に出席いただき、受納式実施済。
 - ・主な機能：4Kカメラ及び放射サーマルセンサー内蔵し、赤外線画像処理が可能。
- イ 災害時における活用について
- ・ヘリコプターに代わり、建物火災及び林野火災における現場の状況把握、水難事故における要救助者の検索、山間地における要救助者の検索等、様々な状況下において迅速な情報収集が可能となる。
- ウ 飯田広域消防本部におけるドローンの活用状況について
- ・機体総数：4機（うち3機がセイコーアドバンス様寄贈）
 - ・配置場所：今回寄贈いただく機体は高森署に配置予定。

エ 令和3年・令和2年 市町村別火災発生状況について（5月11日現在）

- ・火災発生件数 38件（前年同日比 △3件）
- ・上記のうち、たき火等の火災発生件数 17件（前年同日比 △7件）
- ・広域消防では、長野県が行う「春の山火事予防運動強化月間」に合わせ、今月の31日まで、市町村及び南信州地域振興局と協力し、山火事等の火災に対し強化した取組を行っているところ。

オ その他

- ・先月の広域連合会議で報告した新伊賀良23号車の運用開始について、当初4月26日を予定していたが、不良個所が発見されたため、メーカーによる修理を実施し、5月19日の運用開始に向け、再度訓練を重ねている。

（主な意見等）

飯田市：受納式に参加させていただいたが、放射サーマルセンサーという機能は非常に優れたものであり、人の体温を感知し、モニター上で色分け表示される。是非、有効に現場活用して欲しい。

(5) 南信州いいむす21登録判定について 【事務局広域振興係長】 ～資料No.5～

- ・更新1件 株式会社イイダサービス
- ・評価のポイントとして、エコカー販売やエコ整備を推進することで、本来の事業活動と環境改善活動を統合している。また、油類流出の緊急事態を想定し、年1回訓練を実施。訓練の反省点から吸着マットを追加配置するなど、訓練が改善の機会として有効に活かされている。ご審議願いたい。

→ 異議なし。承認となる。

(6) ドキュメンタリー映画、「シルク時空をこえて」について 【広域連合長】資料No.6

- ・ドキュメンタリー映画、「シルク時空をこえて」について、先日、株式会社KOAの会長と話をする機会があり、是非PRをとのことだったため、紹介させていただきたい。信州の養蚕製糸業は地域の発展に大きく寄与したものであり、是非映像化したいとの思いから作成したとのこと。特に子ども達に地域のこういった産業について知って欲しいという思いがあるとのことから、各市町村の教育委員会の皆様にご紹介いただいて、子ども達に映画を上映する機会を与えて欲しい。詳細は、製作委員会である上映事務局へお問合せください。

4 長野県から

南信州地域振興局 【振興局長】

ア 新型コロナウイルス感染警戒レベル及び最近の発生状況について

- ・5月14日に上伊那と上田がレベル4になり、佐久、諏訪、松本、長野圏域と合わせ6圏域がレベル4の特別警報Iが発出されている。
- ・南信州の感染状況については、5月1日に1名、2日に2名、4日に1名、10日に1名、11日に1名、12日に2名発生している。
- ・4月8日に医療警報を発出しているが、感染力が強く、重症化しやすい変異株も増えており、医療機関における負荷を軽減し社会経済活動の回復を図るため、5月10日に改めて目標を掲げ、感染防止対策のお願いをしている。具体的に医療警報発出中、特にお願いしたいこととして、新たに4つの項目を掲げた。（人との接触を減らす、県外への往来はできるだけ控える、重症化予防と感染拡大防止のための早期発見、飲食店利用の際は、新たな会食のすゝめを遵守。）

イ 令和3年度元気づくり支援金について

- ・59事業が内定。
- ・当地域の応募状況は、65件、1億1,210万7千円の要望あり。
- ・南信州地域配分額1億402万円に対し、876万円7千円の残額が生じたため、2次募集を実施。

→ 質疑なし。

5 当面の日程について

令和3年5月31日（月） 令和3年南信州広域連合議会第1回臨時会

6 リニア効果を地域振興に活かすビジョンの策定について【広域連合長、事務局長】 ～資料No.7～
○事務局長

いよいよ本日から始動していく。今日は、検討チームの皆様にも極力同席をいただき、いわゆるキックオフ会議と位置づけ、まずはイメージを共有していただきたい。

○広域連合長（イメージ共有のためのプレゼンテーション）

今回、この地域の将来のビジョンを策定するという事で、検討会議をブロック別に始動させ年度末までに形にしていくにあたり、まずはイメージの共有を図りたい。

お配りしてある資料No.7をご覧ください。上方の絵については、飯田市の今から約30年前の市政施工50周年の頃にタイムカプセルとして埋めた総合計画の資料の一部で、80周年の際に掘り出したものである。当時30年という期間を設定して将来構造図を描いたものではないが、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道にあたるものや、公園、工業団地などが散見される。当時こうなれば良いなど想像し共有しながら進んだ結果、現在となってかなりの部分が実現、若しくは実現に向け近づいている。一方下の絵は、私自身が選挙の際に使用したもので、今から30年後の飯田市がこうなっていれば良いなど思い描いたものである。子ども等も含め、誰もが見て共有することができ、皆で近づいていけたらと思い、文字ではなく絵として描いた。今回、地域の将来像をビジョンとして描く中で、当然、文章として書くことも多いと思うが、少しこうして将来をイメージしやすいものを作っていきたいと思う。

考え方の手法として、バックキャストという手法を紹介したい。これは、現在から未来を考えるのではなく、未来のあるべき姿から未来を起点に解決策を見つける思考法であり、まずは、皆で南信州の将来ビジョンを描き、理想のイメージに向け今足りないものはなにか。どうしたら課題を解決できるか。あるいは、どうすれば現在ある大切なものを守っていけるのか。という理想と現実とのギャップを埋めるように各ブロックで話し合っていってもらいたい。当然、今ある延長線上には理想に近づくことは厳しい。なので、少しジャンプをしたり、イノベーションを起こしたりというものが含まれていても大いに良いと思う。選択肢に制限をなくし、飛躍的なアイデアやこれまでにない新しい発想を大事にして欲しいため、議論の中で、最初からあまり否定的な意見は当面は控えていただきたい。

将来像を描く上でいくつかポイントとなる考え方として、1つは、循環型社会に変わっていく、あるいはこれまでの統計をキャッチアップしていくことに対して、この地域は足りないなど思ってきた感覚は捨てて欲しい。むしろこの地域は循環型社会、あるいは、SDGsという視点で見た時に、先進地域であるかもしれないという意味で、守っていくべきものも意識して考えていって欲しい。上質なローカル、暮らしが豊かなローカルを目指すべきなのではないかと思う。

また、今回お題目としては、リニア時代に向けたとされているが、あまりリニアに乗っかりすぎないように考えて欲しい。あくまでツールとしてどう使いこなすという意味であって、リニアに固執したものにならないようにしたい。一方で三遠南信道の効果については過小評価し過ぎないようにして欲しい。人や物の流れが非常に強く南側からの流れを意識したゾーニング、プランニングをしていっていただきたい。

そして、この地域はいろんなものがかなり高いレベルで揃っている（水、農作物、伊那谷、伝統芸能等の文化など）。そうしたものも住みたい要素の一つであり将来像を描く上で大事にしていって欲しい。

最後になるが、是非、各ブロック発想を膨らませ、様々な意見を交わしていく中で、住みたい街に近付けるよう議論を深めていっていただきたい。

7 閉会…14:40